

「高校生のための東京大学オープンキャンパス2023」企画
ヒューマニティーズセンターって何？
——若手研究者の活動、紹介します

8/2 水

13:00-15:00

オンライン開催
要参加登録

GRADUATE
SCHOOL

司会

永井 久美子

大学院総合文化研究科 准教授

報告

笠原 真理子

ヒューマニティーズセンター 助教

「オペラとマンガ——容姿の描写から考えよう」

水野 博太

ヒューマニティーズセンター 特任研究員

「儒教と顔——こういう時、どんな顔をすればいいですか？」

HIGH SCHOOL

ディスカッション

梶谷 真司

大学院総合文化研究科 教授

高校生の皆さん、こんにちは。皆さんの中に、文学や歴史、美術などは好きだけれど、仕事に結びつくのか、役に立つのか分からない、研究者になりたいけれど将来が不安、という方はいらっしゃいませんか。人文学とは果たしてどのような学問で、どのように社会と結びつき得るのでしょうか。

今回のオープンキャンパスでは、人文系若手研究者の最新の研究を2件ご紹介します。そのうえで、質疑応答やディスカッションの時間を設けますので、皆さんの疑問をどうぞ投げかけてください。哲学対話で人気の梶谷真司教授と、「高校生と大学生のための金曜特別講座」で司会を務める永井久美子准教授が案内役となり、人文学に対する皆さんの「もやもや」が果たして晴れるか、ご一緒に考えてゆきます。

若手2名の研究発表は「顔」をテーマとするものです。普段から「見た目問題」が気になっている方も、ぜひご参加ください。考え方のヒントが、きっと見つかると思います。

